

来年2016年6月に――

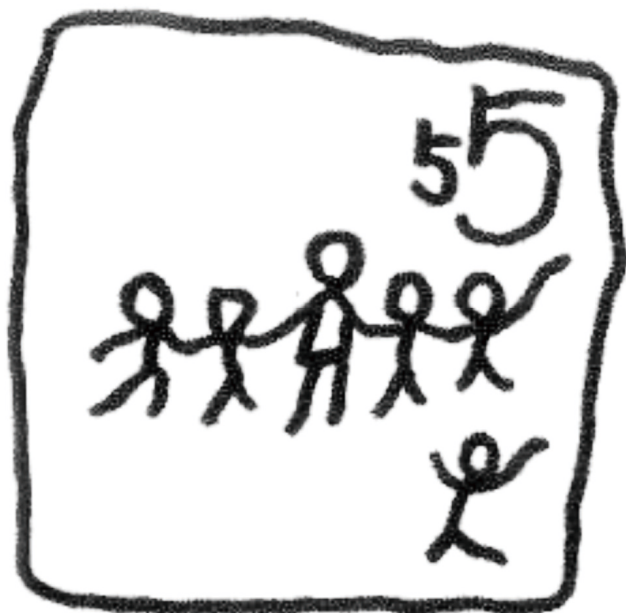
第55回全国保育問題研究集会

# 東京集会

保育問題研究会とは、戦前から実践者も研究者も同じ立場で話し合い、戦前から保育のことを考え続けてきた研究会です。

全国保育問題研究集会とは、地域保問研の実践・研究の成果を持ち寄り高め合う場で、全国から1000名以上の研究者、保育者、学生が集まります。同じ立場で、実践提案を元に、学びと交流を深めます。来年2016年は、戦後保問研が再建された東京で再び集会が開かれます。

が  
開  
催  
さ  
れ  
ま  
す  
！



2016 TOKYO

Illustrated by Takashi Inui

集会テーマ 「もう一度 手と手を ぎゅっと つなぎあおう」



「子どもの幸せが大事だ」東京集会実行委員会では、今から熱く語り合っています。

「保育実践は、波乱万丈なドラマだ」・「保育者になってよかった」・「子どもたちの未来に寄り添える幸せをかみしめる」そんな東京集会にしたいと、知恵と勇気を振り絞っています。子どもと保育を取り巻く情勢は厳しい。でも、だからこそ「子どもの幸せをあきらめない」そのことを仲間と確信するために！東京集会に、また、集まりましょう。

東京集会実行委員長 浜谷直人（首都大学東京）

全国保育問題研究集会  
東京集会  
では……

1日目は、開会集会や記念講演(予定)・歓迎行事が行われます。2日目・3日目の分科会は「乳児保育」・「集団づくり」・「あそび」・「身体づくりー運動」・「身体づくりー食」・「認識と表現ー文学」・「認識と表現ー美術」・「認識と表現ー音楽」・「認識と表現ー科学」・「保育計画」・「保育時間と保育内容」・「保育政策と保育運動」・「障害児保育」・「父母と共につくる保育内容」・「乳幼児期の平和教育」・「地域に開かれた保育活動」と多くの保育問題を実践を基に討論し研究を深めます。2日目夕方に行われる特別講座では、子どもの置かれている状況を考えたり、保育の現場に持ち帰ることができる実技を体験したり、一息ついたり……10本程度の講座を企画しています。

▶ 2016年

6月3日(金)・4日(土)・5日(日)

パルテノン多摩

京王線・小田急線・多摩モノレール  
「多摩センター駅」下車 徒歩5分

首都大学東京南大沢キャンパス

京王線相模原線「南大沢駅」改札口から  
徒歩約5分

集会の申込は2016年4月1日からです

それまでの情報は<http://zenhomon.jp> (全国保育問題研究協議会) までアクセスしてください

主催：全国保育問題研究協議会 第55回全国保育問題研究集会 東京集会実行委員会

東京保育問題研究会

〒113-0033 東京都文京区本郷5-3-20 サンライズ本郷7階

TEL:03-3818-8026 FAX:03-3818-8026

東京集会専用窓口 Mail: [tokyomeeting\\_2016@yahoo.co.jp](mailto:tokyomeeting_2016@yahoo.co.jp)